

みちばたニュース【11月号】

★★なるほど！おばあちゃんの知恵袋★★ <捨てるところがないおかず！>

①鮭の皮も立派なおかずに、身からはがした鮭の皮に塩を軽く振り、オーブントースターで焼くと、生臭さが消えたカリカリのおいしい一品に。DHAもたっぷりですよ。
②キャベツの芯やブロッコリーの茎、ニンジンの皮は素敵な食材ですよ。これらをさっとゆがいて軽く塩もみし、



ご挨拶

平素、皆様方には道路工事に対し、ご理解・ご協力を賜り深くお礼申し上げます。

工事が始まり約2ヶ月が過ぎ、大きな災害も無く順調に工事が進んでおります。各工区の沿道の皆様にはご迷惑をおかけしてはいますが、上野工区及び上吉田工区に続き加斗工区・和田工区が完成し、残り2工区となりました。

日が暮れるのも早くなってきましたが、安全には十分に気をつけ早期完成を目指したいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力の程よろしく願います。



ヒヤリ・ハット ~ハインリッヒの法則~

★ヒヤリ・ハットとは??

重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例。文字通り、突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの。重大な事故が発生した際には、その前に多くのヒヤリ・ハットが潜んでいた、とされる。

ヒヤリ・ハットは結果として事故に至らなかったものである。直接の関係者は「あふかった」と直ぐに忘れがちである。そこで、職場や作業現場などでは、敢えて各個人が経験したヒヤリ・ハットの情報を公開させ、蓄積、共有することで、重大な労働災害の発生を未然に防止する活動が行われる。

★ハインリッヒの法則とは??

米国のハーバート・ウィリアム・ハインリッヒ氏が労働災害の発生確率の分析したものです。1件の重大災害の裏には、29件のかすり傷程度の軽災害があり、その裏には災害はないがヒヤリとした300件の体験がある。さらに、幾千件もの「不安全行動」や「不安全状態」が存在しているというもので、「1:29:300の法則」とも呼ばれています。これは、産業界のみならず、医療界でも広く浸透している考え方は、

ハインリッヒ氏は「労働災害全体の98%は予防可能である」と指摘しています。軽災害をなくせば、重大災害もなくなります。ヒヤリ・ハットをなくせば、軽災害もなくなります。不安全状態、行動をなくせば、ヒヤリ・ハットもなくなります。

【ハインリッヒの法則】
-1:29:300-



300回ヒヤリハットを起こせば、1件の重大災害に繋がります。

工事の計画工程表

ただいまの進捗率 62.1% (10月31日現在)

上野工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	11月	12月
道路修繕(上野)					
道路土工					
舗装工					
区画線工					

伏原工区 現在の進捗状況 ※夜間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(伏原)			
道路土工			
舗装工			
区画線工			

和田工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	11月	12月
道路修繕(和田)					
道路土工					
舗装工					
区画線工					

上吉田工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	11月	12月
道路修繕(上吉田)					
道路土工					
舗装工					
区画線工					

加斗工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	11月	12月
道路修繕(加斗)					
道路土工					
舗装工					
区画線工					

菌部工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(菌部)			
舗装打換え工			
切削オーバーレイ工			
区画線工			

工事の施工写真



【着工前】
-加斗工区-



【完成】
-加斗工区-



【着工前】
-和田工区-



【完成】
-和田工区-

施工業者： 株式会社 道端組 小浜作業所 (TEL 0770-64-5960)
現場代理人： 河原宏泰 URL <http://michibatagumi.aikotoba.jp>
監理技術者： 吉田新吾 [ホームページも見て下さい](#)
(お気付きの点がございましたら事務所までご連絡ください。)



裏面も見てください。

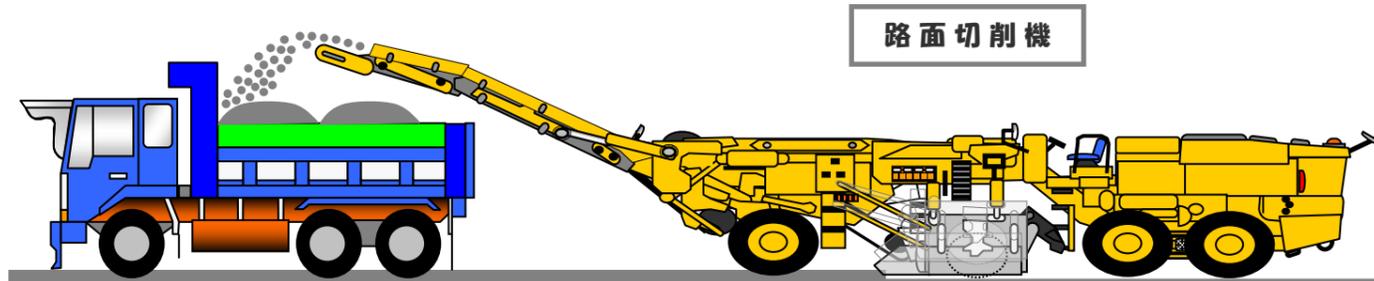
当現場の施工順序

工事名：国道27号路面補修工事

会社名：(株)道端組

① 路面切削工

事前に測量を行い、削る厚さを決定します。
算出した厚みを路面切削機で道路を削り、ベルトコンベアで削った廃材を10tダンプにて積込みます。削り終わった後から路面清掃車の大型ブラシにて残った廃材を綺麗に掃き取ります。
路面切削機で削る事が困難な箇所は手持ち式のブレードにて研り、撤去します。



路面切削機



路面切削機

手持ち式ブレード

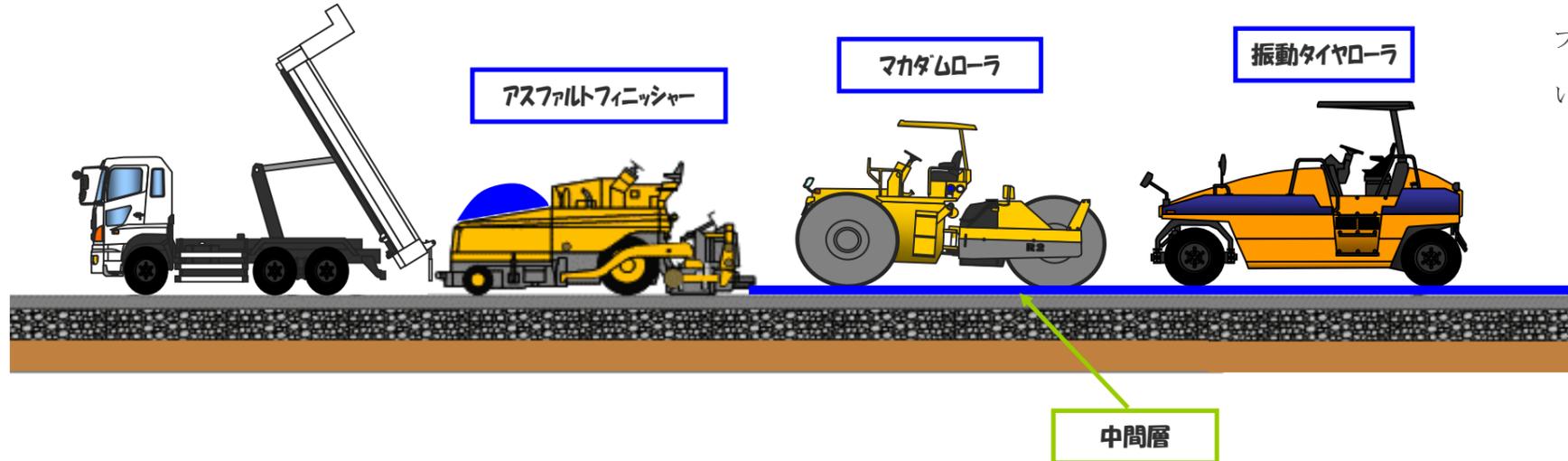


路面清掃車



② アスファルト舗装工(中間層)

切削した道路面に接着剤(アスファルト乳剤)を散布します。
接着剤が乾いたのを確認してから道路の材料(アスファルト合材)を積んだ10tダンプを現場の中に搬入させ、アスファルトフィニッシャーの中に材料をあけます。
アスファルトフィニッシャーにて所定の厚さで式均し、後ろからローラにて転圧を行います。



アスファルトフィニッシャー

マカダムローラ

振動タイヤローラ

中間層

接着剤散布状況

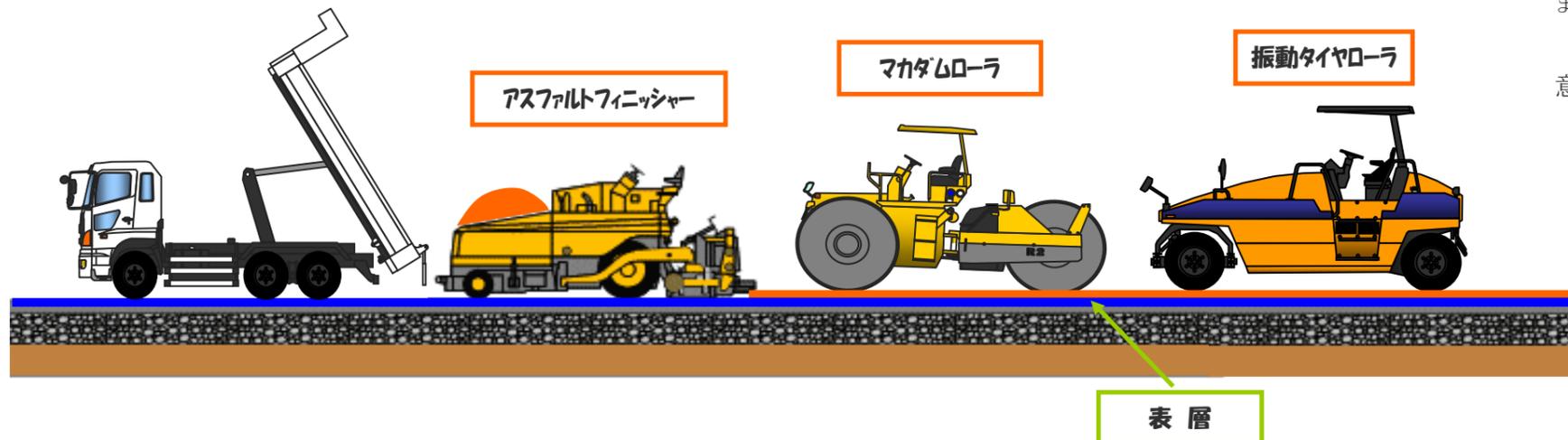


舗装式均し状況



③ アスファルト舗装工(表層)

舗装面に落ちているゴミを取り除いてから、基層の舗装面に同じく接着剤を散布します。
中間層と同じやり方で舗装を行います。
この時の現場に到着したアスファルト温度は170℃近い温度なので火傷に充分注意しながら施工を行っています。



アスファルトフィニッシャー

マカダムローラ

振動タイヤローラ

表層

マカダムローラ



振動タイヤローラ

